

令和4年6月第4回定例会一般質問事項（7／4・5）

1 辻 人志 議員（政友会） 【一問一答】

（1）不登校児童生徒への支援について

- ・市内小中学校における不登校児童生徒の状況は。
- ・学校・教育委員会は不登校とその傾向にある児童生徒および家庭に対してどのような対応を行っているのか。
- ・福祉総合相談室における取り組みの内容と相談状況を問う。
- ・市内・県内の民間施設やNPO、他自治体などと連携を図っているか。
- ・不登校が生じない魅力ある学校づくり、いじめや暴力を許さない学校づくりを目指して、どのような取り組みを行っているか。
- ・不登校や不登校傾向にある児童生徒に対して登校支援や学習支援などを行う不登校対策支援員を小中学校に配置してはどうか。

（2）DX行政の推進について

- ・DX行政を推進させるにあたって、期待される効果とその課題は。
- ・今年度以降、デジタル技術を活用して行う行政サービスの実施内容を問う。
- ・高齢者などの「デジタル弱者」が、行政のデジタル化から誰一人取り残されないための方策を検討しているか。

2 伊藤 聖一 議員（創政会） 【一問一答】

（1）丸岡城周辺整備について①

- ・市長は就任後文化庁等と協議をされたと聞いているが、文化庁担当官の丸岡城天守国宝化と茶屋移転先との関連についての所見をどのように理解されたか。

（2）丸岡城周辺整備について②

- ・丸岡城の復元が目に見えて着実に進められるための計画策定と財源確保をこれまでに何度も求めてきたが、補正予算に計上されている歴史的風致維持向上計画と丸岡城天守保存活用計画との関連も含め改めて所見を問う。また、丸岡城周辺整備基本計画の一部内容で、史実に反する復元が含まれていると丸岡城歴史愛好家より指摘を受けているが、指摘内容の確認と対応方法について問う。

（3）丸岡城周辺整備について③

- ・埋蔵文化財保管施設を新設する考えはないのか。

（4）丸岡城周辺整備について④

- ・一筆啓上茶屋の移転、蕎麦屋の移転、園庭の撤去等について、地区住民への十分な説明・お知らせを実施してきたのか。また、「丸岡城天守を国宝にする市民の会」を所管する担当部署を文化課から変更するべきではないのか。

3 鍋嶋 邦広 議員（創政会） 【一問一答】

（1）4年間の池田市政の基本的な方針について

- ・ご自身が目指す市長像について、また、「チームさかい」7つの政策にも書かれている「市民主役の市政運営」とはどのような内容か、坂本市政との違いは何か、池田

- カラーとは。分かりやすい言葉で答弁を願う。
- ・市職員に求める、職務の進め方、市民への対応、関係事業者への対応、行動規範等、市職員としてあるべき姿、及び人材育成について、市長の考えについて答弁を願う。
- (2) 北陸新幹線県内開業までの地元自治体としての準備について
- ・2023年度末までに完成するまたは、完成させたい、間に合わせたいと考えている項目について、ハード・ソフト・人材育成の3点に分けて内容説明を求める。
- (3) 寄附市民参画制度活用の進捗状況報告について
- ・日本海側1番のアウトドアスポットの企画について、昨年12月22日時点で、達成率(107.89%)となっているにも関わらず、6ヶ月以上経過した現時点でも、市民及び寄附者へ、何ら具体的な報告が無いのは何故か、説明を願う。
 - ・前述の事実を踏まえ、市としての改善策の答弁を求める。
- (4) 並行在来線及びえちぜん鉄道への地元負担と乗客人数増加策について
- ・今後10年間の、えちぜん鉄道と並行在来線併せた地元負担額総額と市民(人口)一人当たりの負担額試算を年次ごとに示していただきたい。
 - ・前問をもとに、地元自治体として考えている収支改善のアイデア、乗客数アップに向けた具体的施策について、市としての考えについて答弁を願う。
- (5) 親の収入格差が子供の学力格差につながらないような施策について
- ・新たな奨学金制度の拡充について、県との連携も含め、市としての考えについて答弁を願う。
- (6) 県観光連盟・DMOさかい観光局・市観光交流課の業務の棲み分け及び連携について
- ・上記3者における業務の棲み分け、漏れダブりのチェック、事前調整、情報収集・情報共有等、効率的、効果的な観光行政運営にどのように努めているか答弁を願う。

4 山田 秀樹 議員(創政会) 【一問一答】

- (1) 家庭用防犯カメラ設置について
- ・犯罪抑止力の向上や、安心安全な地域づくり推進を図るため、家庭用防犯カメラ設置費用の助成制度を設けてはどうか。
- (2) 公共施設の無料Wi-Fiについて
- ・来場数の多い公共施設で、無料Wi-Fiが整備されているにもかかわらず施設内に案内や看板が無い。なぜか。
 - ・市内の主要な無料Wi-Fi整備済み公共施設の案内状況は。
 - ・公共施設での多数同時接続による低遅延対策にWi-Fi6導入が有効と考えるがその予定はあるのか。
- (3) 全天候型子ども遊び場整備について
- ・全天候型子ども遊び場整備について市長の所見を伺う。
- (4) 新三国駅広場と駐車場について
- ・新三国駅広場の今後の活用、賑わい創出について伺う。
 - ・駐車場の利用方法がわかりづらいと聞く。対策は。
 - ・駅周辺の誘客を図るため、観光バスも駐車場を利用できるようにしてはどうか。

5 戸板 進 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 今後の介護予防事業について

- ・高齢者単身者数が増加する中、高齢者の居場所づくりは必要なものである。現在介護予防拠点施設等で実施されている、地域介護予防活動事業では、これまで利用回数に制限がなされていなかったと思うが、総合事業に移行されたことにより、週1回とされた。このことは、介護予防拠点施設としての機能を損なうものとするか。所見を伺う。
- ・令和4年度から、通いの場事業と地域サロンが一体化し、社協に委託され運営されると聞いている。その狙いはどこにあるのか。
- ・介護事業を担うスタッフ、ボランティアの方の後継者育成が必要だと思うが、どのように育成されるのか。
- ・フレイルチェック後のケアプラン作成が必要だと思うが、どのように考えているのか。

6 廣瀬 陽子 議員（創政会） 【一括】

(1) 移住定住を促進するための市の考えは

- ・福井県内では、昨年度移住者が過去最多であったが坂井市はどうか。
- ・子育て環境の良さをアピールし、坂井市への移住につなげる施策をどのように考えているのか。
- ・DMOさかい観光局に移住者支援を委託されているが成果はどうか。また庁内に移住専門部署を設置してはどうか。

7 伊藤 宏実 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 小規模農家への支援策について

- ・農業従事者の高齢化や後継者不足の現状の中で、昨今の資材高騰や米価下落により営農をあきらめる農家が増えていると聞く。本市における休耕田の状況はどのように推移しているか。増えていないか。
- ・県の支援策には融資の支援や多角化といったメニューが多いが、伝統的な兼業スタイルの小規模農家は対象とならないものが多く、恩恵がほとんどない。しかし、現実問題として小規模な農家が田畑を守り地域のコミュニティを維持していることも事実である。後継者不足も言われる中で、本市における離農の状況はどのように推移しているか。またその現実に対しどのように考えるか。
- ・国や県の農業政策に頼らず、市として小規模農家に対しても営農をあきらめない市独自の支援策を検討すべきと考えるが所見はどうか。

(2) 移動投票所（車）の導入について

- ・投票所の統合後の市民の声として、どのような意見を聞いているか。
- ・臨時の投票所を設けた実績から、投票事務を市民の側に「出前」することについてその効果をどう考えるか。
- ・小浜市と勝山市の現状をどう把握しているか。
- ・移動投票所（車）の導入について、どう考えるか。

8 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団） 【一括】

(1) 豊原寺の歴史を活かしたまちづくりを計画的に進めること

- ・市長、副市長、教育長には豊原の地に、学芸員をはじめガイドの人たちと足を運び、豊原寺の歴史に触れることを求める。
- ・赤色立体図は、近年全国の文化財調査に導入されている、航空測量技術で作られた地形測量図である。古墳や城跡の現状を把握する手段として用いられている。赤色立体図のデータシステムを持つ県にデータの申請を求め、豊原の遺構などの調査を進めること。
- ・年に一度、調査などの報告も含め、講師を呼んで講演会をするなど市民への興味・関心を深めていくこと。
- ・豊原寺や丸岡城などで発掘されたものを、丸岡で収蔵できる埋蔵文化センターの整備が必要。

(2) 雪に強いまちづくり・・・市内道路の消雪設備の整備を求める

- ・市内道路の消雪の整備を求める。
- ・消雪には、優先順位があると思うが、なんといっても学校周辺と通学路、それも歩道のない通学路など広く市民の声を聞いて進めること。
- ・市内の県道についても、一部が消雪になっていないところや病院などが近辺にあるところなど、しっかりと県に働きかけて消雪の整備を。

(3) 全天候型遊び場の整備の具体的な計画と実現を求める

- ・天候にかかわらず、外でも室内でも遊びが選べる環境を優先して整備していったら。例えばゆりの里のゆりファーム。廃園になっている舟寄保育園敷地など。

9 三宅 小百合 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 都市公園の今後のあり方について

- ・公園の管理・運営について伺う。
- ・利用者目線の公園の活用について伺う。
- ・今後の都市公園の考え方について伺う。

10 岡部 恭典 議員（創政会） 【一括】

(1) 市民の安全安心な暮らしを守るための雪害対策について

- ・幹線道路の消雪設備をどのような方法で整備していくのか。これまで、融雪設備の整備については、費用対効果の関係から否定的であったが、機械除雪と併せて取り組むこととなったのか。
- ・これまでも、議論されているが地域資源である農業用水パイプラインを利用した融雪、消雪工の整備をすることはできないか。
- ・幹線道路の消雪設備の整備は、生活道路が第一優先となると思われるが、子供たちが安全で安心して通学できるためにも、学校周辺の道路の消雪設備の整備を早急に進める考えは。
- ・坂井市の通学支援制度は、2008年9月から実施し他市に負けない充実した支援制度である。これまで料金の見直し減免措置などは実施している。近年の大雪の状

況を見ると、保護者から冬期間の通学支援の距離基準を見直してほしいとの声を聞くが、距離基準を見直す考えはないか。

- ・ 県道、市道等の除雪は、県や市による「公助」で対応しているが、集落内の生活道路は、地域住民の「自助」と「共助」、地域の力で対応している。地域における「共助」の仕組みを確立するための手厚い方策は。

(2) 坂井市水道事業経営戦略について

- ・ 水道事業経営戦略を策定してから、今日までどのような取り組みを行ってきたか。
- ・ 収益的収支の黒字を維持するため料金改定を令和4年で20%、令和9年で14%のアップが必要としているが、今後この計画で進めていくのか。
- ・ これまでも、組織の統合や業務の一部民間委託など経営健全化の取り組みを行ってきたが、公営企業の基本原則である「企業としての経済性を発揮する」ためには、水道事業部局を市長部局から切り離し、企業管理者の元運営を行う考えはないか。

11 後藤 寿和 議員（志政会） 【一問一答】

(1) 地域の魅力再発見と市独自のプレミアム婚姻届について

- ・ 地域の新たな魅力づくりとして、プロポーズの聖地などを認定したらどうか。
- ・ 坂井市オリジナル婚姻届を作り、二人の門出を祝福したらどうか。
- ・ 市役所のエントランスに婚姻届を提出した際、撮影スペースなどを設けて市民により身近に感じてもらえる空間づくりをしたらどうか。

(2) 三国運動公園の再整備について

- ・ 現在の公園の入口は雑木林に囲まれて、子供たちも近づきにくくなっている。雑木林の伐採、街灯設置の周辺環境整備をするべきと考えるが市の所見は。
- ・ 現在のウォーキングコースを含む公園内の自然を生かして、県内外からも話題になるような大人も子供も安心して遊べるツリーアドベンチャー遊具も備えた公園整備をしたらどうか。
- ・ スケートボードパーク、ボルダリング、スリーオンスリーなどのストリートスポーツ場の開設、ドッグランなどのペット愛好家の憩いの場などの創出をしていくべきと考えるが市の所見は。

12 佐藤 岳之 議員（創政会） 【一括】

(1) 坂井市での小麦の栽培について

- ・ 小麦の作付けの状況を伺う。（品種・国内、福井県内、坂井市内）
- ・ 坂井市における小麦の生産に必要な営農技術、栽培環境の醸成や小麦の消費拡大を図るための産官学の連携組織などを設置することはできないか。
- ・ 小麦の生産を推進することで、農家の所得向上、坂井市の新たな農産品の創出につながると思うが見解を伺う。

(2) 坂井市の音楽フェスについて

- ・ 音楽フェスの名称を募集しているが、今日現在、何点応募があったか。
- ・ 音楽フェスと同時に食のイベントを企画できないか。
- ・ 音楽フェスと同時に坂井市の伝統、文化を知る、体験できるイベントを企画できな

いか。

13 林 豊夏 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 各分野の担い手不足問題について

- ・将来を担う若者に活気をもたらしたいとは具体的にどう考えているのか。
- ・第一次産業の担い手不足についてどういう対策を考えているのか。
- ・消防団やまちづくり協議会などの各種団体の担い手不足について、どういう対策を考えているのか。
- ・祭りや伝統文化などの無形文化財の担い手不足について、どういう対策を考えているのか。

14 永井 純一 議員（公明党） 【一括】

(1) 教育の充実について

- ・市長は公約で、坂井市ならではの教育振興策をかかげている。どのような思いで掲げられたのか。また、具体的に思い描かれていることがあれば伺いたい。

(2) コロナ禍による子供たちへの影響について

- ・コロナ禍による子供たちへの影響についての現状認識と心のケア対策を伺う。
- ・暑く湿気も多い季節である。坂井市としての学校生活におけるマスク着用の考え方を伺う。

(3) ウクライナ支援について

- ・坂井市は誰にでもやさしい、誇れるまちということで、ウクライナ避難民の受け入れや出来る支援策について市の考えを伺う。

(4) 重層的支援体制整備事業について

- ・この事業を市民に分かりやすく気軽に使っていただくための事業名（ネーミング）と内容、周知について伺う。

(5) 農業の活性化について

- ・坂井市で小麦を生産することの考えは。
- ・現在の主な転作である大豆、麦、蕎麦を増やす考えと、その他の有効な転作物はあるか。
- ・食の変化や人口減少によりコメの消費が減少している。米余りにもなってるが、小麦粉の代用やそれ以上の活用が期待できる米粉の生産の考えは。